

北海道川上郡標茶町における森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和５年度	令和６年度	計	令和６年度末時点の 活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	100,485,553	52,200,273	152,685,826	84.88%	森林整備や学校林事業、林道の維持補修、 林業DXの推進を行う
譲与額（円）	132,756,000	47,108,000	179,864,000		

■令和６年度の具体的な活用状況

区分	事業区分	事業費（円）		事業内容
			うち森林環境譲与税	
森林整備	意向調査の準備作業 森林整備の準備作業	81,840	81,840	北海道において整備する森林統合クラウドシステム利用に係るネットワーク強靱化のための利用料
森林整備	意向調査の準備作業 森林整備の準備作業	205,700	205,700	適正な森林情報の管理・運用のため森林GIS及び林地台帳データの整備・更新及びシステムの保守
森林整備	私有林整備	5,387,000	3,330,150	私有林における森林経営計画に基づく間伐等森林施業に対し、町予算の範囲内で標準経費の68%を補助する。（林野庁公共事業の補助金交付を受けるものは対象外）
森林整備	公有林整備 （財産区分林含む）	5,412,000	5,412,000	国立公園及びその周辺地域の私有林（約433ha）について、森林破壊の恐れがあり、災害防止・景観や水質の保全・野生動植物の保護等の観点から、町において取得し、適切な森林整備等を実施していく
森林整備	森林保護対策	6,780,577	1,445,983	「地域の課題」に位置付けられている野ネズミによる森林被害に係る対策として、従前実施している殺鼠剤の空中散布に係る森林所有者負担額の一部を補助し、継続・拡大した野ネズミ防除を実施
森林整備	林道・林専道の整備等	15,180,000	15,180,000	林道の維持・補修工事を行い、森林整備の促進を図る
人材育成	担い手確保	50,000	50,000	道内の多くの市町村が参加し「北海道北の森づくり専門学院」における地域実習等の支援を行う「北海道林業・木材産業人材育成協議会」へ賛助金を拠出し、林業・木材産業の担い手の確保を支援する

人材育成	担い手確保	70,000	70,000	釧路管内における市町村及び関係団体等が参加している釧路地区林業・木材産業担い手確保推進協議会へ負担金を拠出し、担い手の育成確保に係る事業実施を図る
人材育成	林業就業者の育成	3,608,000	1,640,000	林業事業体及び林業就業者の育成に関する補助（高性能林業機械の導入等に対する助成）
普及啓発	森林・林業 木材普及活動等	19,987,000	19,987,000	自然環境や景観の保全、更には住民の保健休養や自然観察の場など、多面的な機能の緑豊かな生活環境保全林の更なる利用促進を目的とし、遊歩道等の再整備を図る
普及啓発	その他 (木材・普及啓発関係)	320,600	320,600	町内で子どもが生まれた世帯に対して、地域材で制作した木製フォトフレームをプレゼントする
普及啓発	その他 (木材・普及啓発関係)	1,617,000	1,617,000	塘路地区農村モデル公園において、地域材を利用した木製テーブルや椅子等を設置し、大人から子どもまで木に触れられる機会を創出し、併せて木材の普及啓発を図る
森林整備	その他（森林整備）	2,860,000	2,860,000	本町、森林林業における課題の洗い出しと、課題解決に向けた方策の検討を行う。地上レーザーや航空レーザーによる森林基礎調査を行ったうえで、本町森林整備に係る森林ビジョン策定。また森林モニタリング調査により CO2 吸収量を算出し J-クレジット創出について検討を行う。また、森林林業従事者の負担軽減や働きやすい環境を整え担い手の確保を図る
基金積立		0	0	
合計		61,559,717	52,200,273	

■今後の実施計画

- ①適正な森林情報の管理等を図るため、森林統合クラウドシステム・森林 GIS や林地台帳等の整備の実施を継続する。
- ②森林整備の加速化を図るため、私有林・公有林の整備や野ネズミ対策の実施し林業 DX の推進を継続する。
- ③林道を長期にわたって使用するため、維持・補修工事を継続する。
- ④人材育成、普及啓発に関する関係団体への負担金や事業を継続する。